



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929

第87期

中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

新しい時代の「安全、安心、快適」を
ステークホルダーの皆さまとともに
つくり上げてまいります。



代表取締役社長 高山 靖司

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第87期（2021年4月1日～2022年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、国内では、緊急事態宣言が断続的に発令されるなど依然として厳しい状況が続いたものの、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種等の効果もあり、経済は回復に向かい、企業活動においても徐々に持ち直しの動きが見られてきております。海外でも、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済は一部で依然として厳しい状況であるものの回復傾向にあります。このような環境下、当社グループは「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画を2021年度まで延長し、コロナ禍での適切な対応に加え中期経営計画を完遂すべく、引き続き各戦略に取り組んでまいりました。この結果、当期における売上高は216,500百万円、営業利益は14,356百万円、経常利益は13,927百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,135百万円となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、売上高は、上期実績が期初予想を上回り、海外子会社を中心に原材料価格高騰に対して販売価格への転嫁を順調に進めていることから期初予想より7,000百万円増額の457,000百万円と致しました。利益につきましては、上期実績は期初予想を上回ったものの、原材料価格の高騰やサプライチェーン問題の影響を考慮し、期初予想を据え置いて営業利益34,000百万円、経常利益32,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は21,600百万円としております。

株主の皆さまにおかれましては、当社の経営方針並びに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

4月



当社の米国子会社であるオーバーヘッドドア社は、今年で創業100周年を迎えました。

1921年創業



当社の米国子会社であるオーバーヘッドドア社は米国大手ドアメーカーであるWon-Door Corporation (ワンドアコーポレーション) の全株式を取得しました。

4月1日取得



5月



高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」が、内閣官房「国土強靱化 民間の取組事例集」に選定されました。

4月27日掲載



ガラス入り防火戸「ファイヤード5」シリーズに、ねじ固定により溶接を使用しない「無溶接工法」を追加しました。

5月10日発売



6月



一面ガラスの開放感を確保しながらスッキリとした空間を演出したガラスパーティションにガラス引き戸「スライドクール」を追加しました。

5月25日発売



FTSE4Good



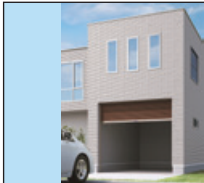
FTSE Blossom Japan

ESGに関するさまざまな評価基準を満たした銘柄で構成される「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」に初めて選定されました。

6月21日適用



7月



ガレージ向けとして従来比2倍の開放速度を実現したガレージ用軽量電動シャッター「サンオートハイスピード」を発売しました。

8月2日発売

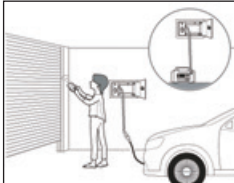


防火地域にも設置可能なアルミフラットガレージドア「威風動々」の防火タイプに質感の高い木目調5色を追加しました。

8月2日発売



8月



停電時でもハイブリッド車やポータブル電源のコンセントでガレージドア・シャッターを電動で開閉できる停電時電源供給システム「Eコネクト」ガレージ用を発売しました。

8月30日発売



トイレブース「RブースTR40 バリアフリー仕様」に、非接触でトイレのドアを自動で開閉することができる電動タイプを追加発売しました。

9月1日発売



9月



「統合報告書2021」を発行しました。歴史や強み・戦略・ESG情報などをわかりやすく紹介しています。

9月2日発行



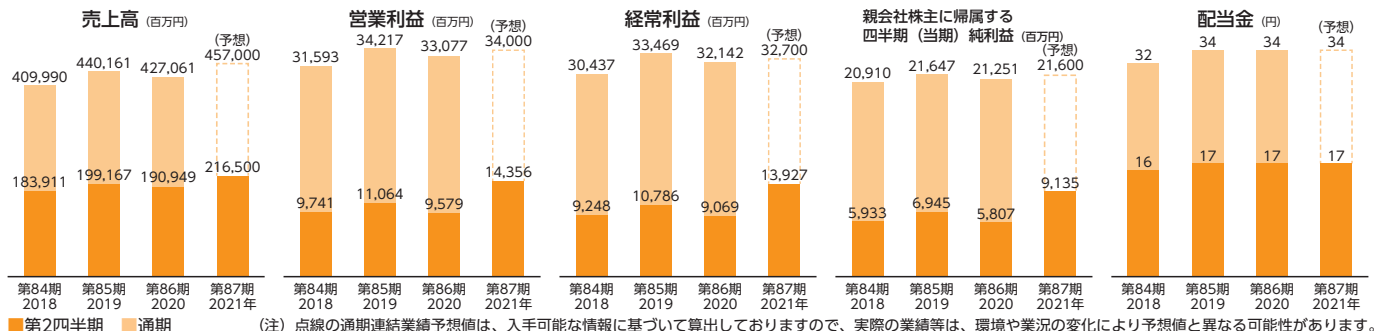
大型台風の風害対策として、物流倉庫などの高層部にも設置可能な高強度オーバーライダー「耐風ガードOSD」を発売しました。

9月21日発売



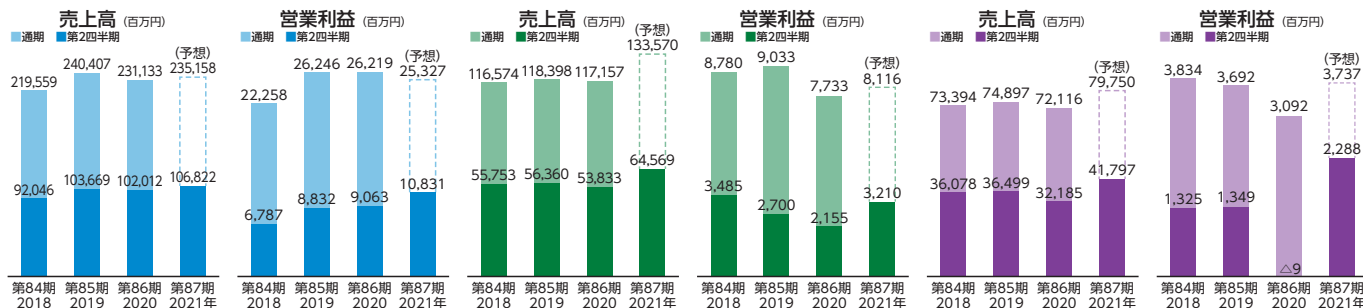
財務ハイライト（連結）

当第2四半期連結累計期間における実績は、コロナ禍での中期経営計画に基づく各戦略を実施したことにより、売上高は、前年同四半期比13.4%増の216,500百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比49.9%増の14,356百万円、経常利益は、前年同四半期比53.6%増の13,927百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比57.3%増の9,135百万円となりました。

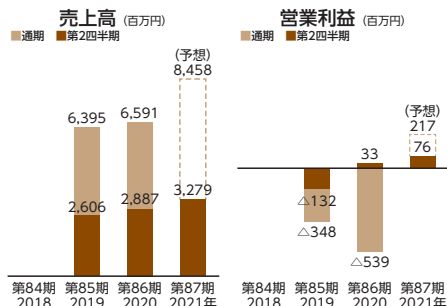


地域別営業の状況（第2四半期累計期間）

地域	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
日本	106,822	10,831
北米	64,569	3,210
欧州	41,797	2,288



地域	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
アジア	3,279	76



(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。
2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

国内では、コロナ禍からの市場回復に伴い、三和シャッター工業が数量増加と原材料価格高騰に伴う販売価格値上げにより増収増益となりました。また、その他子会社でも鈴木シャッター、三和システムウォールが大きく回復し増益となりました。

米国では好調が続く住宅市場の数量効果や原材料価格高騰に伴う販売価格の値上げにより増収増益となりました。欧州ではコロナ禍からの回復が顕著であり数量が大幅に増加し、増収増益となりました。アジアでも各地域で順調に推移し増収増益となりました。その結果、上期として売上、利益ともに期初予想を上回り過去最高を更新致しました。

四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期末 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産	240,602	232,278
現金及び預金	76,805	68,013
受取手形及び売掛金	76,388	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	78,412
電子記録債権	10,910	9,039
有価証券	13,002	14,501
棚卸資産	60,755	58,981
その他	4,598	5,356
貸倒引当金	△ 1,858	△ 2,026
固定資産	134,556	145,127
(有形固定資産)	(69,415)	(72,546)
建物	21,248	22,081
土地	21,607	22,278
その他	26,559	28,186
(無形固定資産)	(20,776)	(27,919)
のれん	4,913	9,210
その他	15,862	18,708
(投資その他の資産)	(44,364)	(44,661)
投資有価証券	28,976	29,163
退職給付に係る資産	7,756	7,992
その他	8,194	8,018
貸倒引当金	△ 563	△ 512
資産合計	375,159	377,405

※当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額104,142百万円

四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	当第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
売上高	190,949	216,500
売上原価	134,797	151,435
売上総利益	56,151	65,064
販売費及び一般管理費	46,572	50,708
営業利益	9,579	14,356
営業外収益	485	553
営業外費用	995	981
経常利益	9,069	13,927
特別利益	118	13
特別損失	77	33
税金等調整前四半期純利益	9,109	13,907
法人税等	3,257	4,667
四半期純利益	5,852	9,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,807	9,135

科 目	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期末 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債	131,856	123,147
支払手形及び買掛金	51,986	51,516
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
短期借入金	6,004	6,187
1年内返済予定の長期借入金	1,050	1,050
その他	52,815	44,393
固定負債	61,915	62,148
社債	20,000	20,000
長期借入金	19,140	19,036
退職給付に係る負債	13,566	13,469
その他	9,208	9,642
負債合計	193,771	185,296
純資産の部		
株主資本	173,776	179,473
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,729
利益剰余金	105,450	111,276
自己株式	△ 9,990	△ 9,946
その他の包括利益累計額	6,051	10,962
その他有価証券評価差額金	2,066	2,167
繰延ヘッジ損益	△ 8	△ 89
為替換算調整勘定	5,130	9,963
退職給付に係る調整累計額	△ 1,137	△ 1,079
新株予約権	279	285
非支配株主持分	1,280	1,387
純資産合計	181,387	192,109
負債純資産合計	375,159	377,405

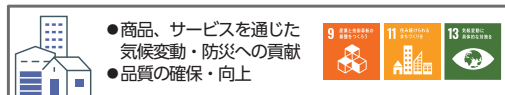
四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	当第2四半期累計 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,067	9,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,296	△ 12,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 977	△ 4,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 61	1,378
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,732	△ 5,884
現金及び現金同等物の期首残高	54,618	87,795
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	883	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	92
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,233	82,003

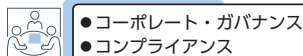
当社グループは、ステークホルダーにとって重要であると同時に、当社グループにとって経営インパクトの大きい課題として、2019年度に20個のESGマテリアリティ（環境、社会、ガバナンスに関わる重要な課題）を特定しました。その後、気候変動問題をはじめ世界的にサステナビリティの重要性が高まる中、事業活動を通じて社会課題の解決やステークホルダーの期待にお応えし、企業価値向上につながる取り組みをさらに推進するため、2021年度に見直しを実施し、11個のESGマテリアリティを特定し直しました。

サステナブルで住み続けられるまちの実現



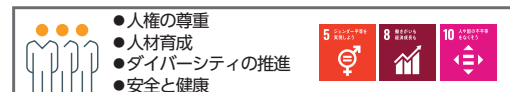
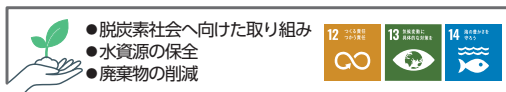
ものづくり ～事業を通じた社会課題の解決～

グループの経営基盤



環境 ～持続可能な地球環境の実現～

人 ～働きやすさとやりがいの追求～



ものづくり

～事業を通じた社会課題の解決～



近年、SDGsをはじめ、サステナブルな社会の実現に向けた動きが世界中に広がっています。また、気候変動に起因する自然災害や新型コロナウイルス感染症など感染症の影響もあり、人々の安全・安心な暮らしを守り支えるための備えと回復力＝レジリエンスがますます求められてきています。持続可能でレジリエントな社会の構築に私たちの“ものづくり”が貢献できる領域は広く、当社グループのシャッター、ドア、間仕切などの“防ぎ、守り、区切る”確かな技術と品質で、社会課題の解決に努め、企業価値を持続的に向上させていきます。

品質の確保・向上

当社グループは、メーカーとしての最大の責務である品質安全を追求するため、開発から販売、製造、施工、メンテナンス・サービスに至る全てのプロセスにおいて、品質・安全性の向上に努めています。シャッターやドアなど当社の“動く建材”を購入されたお客さま、それらを使用する方々一人ひとりに安心して使い続けていただくため、商品自体の品質はもとより、施工品質、メンテナンス・サービス品質の安定確保も重要だと認識しています。品質監査・改善活動、管理体制の強化、技能レベルの向上など、品質向上へ向けたゆめめ努力を続けていきます。

また、2020年度は修理受付サービス利用者の顧客満足度調査を実施しました。今回の調査結果を、修理サービスを含めた品質の向上および顧客満足度のさらなる向上につなげていきます。

1. 製品の安全性向上
2. 製品品質と施工の品質向上
3. サービスおよびマナーの品質向上
4. トレーサビリティの向上

修理受付窓口顧客満足度調査の、サービス総合評価で“とても良い・良い・やや良い”を選んだお客さま

89.3%

調査期間：2020年1月～12月
調査対象：三和シャッター工業の修理受付サービスの利用者 (n=1180)



環境

～持続可能な地球環境の実現～



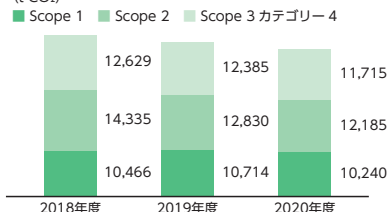
世界が「脱炭素」へ向けて大きく舵をきる中、世界26の国と地域において事業を営む当社グループにとって、自らの事業活動が地球環境に与える負荷に責任を持ち、影響軽減のための対策を講じることの重要性を認識しています。事業活動のあらゆる側面で、脱炭素への対応、水資源保全、廃棄物削減をはじめとした地球環境負荷低減への取り組みを進めるとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスクと機会のシナリオ分析を進めることで、中長期的な企業価値の向上につなげていきます。

脱炭素社会へ向けた取り組み

2015年12月の「パリ協定」、そして2020年10月に日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」を受けて、私たちを取り巻く環境は大きく変わり、脱炭素社会へ向けた動きは加速しています。

当社グループは、世界63拠点で生産活動を行うメーカーとして、事業活動において排出される温室効果ガス削減へ向け、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用し、エネルギー使用量の削減および効率化の推進に取り組んでいます。

三和シャッター工業の Scope 別 CO₂排出量推移 (t-CO₂)



※カテゴリー4の「輸送・流通（上流）」のうち、荷主分の輸送に係る燃料使用量から換算

2030年CO₂排出量削減目標

三和シャッター工業では2030年までにScope1とScope2のCO₂排出量を2020年度比30%削減することを目標として設定致しました。

Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス） Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）



人

～働きやすさとやりがいの追求～



当社グループの商品が「動く建材」として機能を発揮するためには、開発、生産から施工、メンテナンス・サービスへ至るまでの間に協力会社・施工技術者などの多くの“人”の協働を必要とします。また、会社の成長とイノベーションは、従業員一人ひとりに蓄積された顧客ニーズや多種多様な知識とノウハウ、価値観の組み合わせから成ることから、“人”は競争力の源泉であり、最も重要な経営資源です。人権や多様性の尊重、安全衛生や人材育成への取り組みを通じて、当社グループへ関わる人々の働きやすさとやりがいを追求し、人と組織の力を最大化することで企業価値を持続的に向上させていきます。

ダイバーシティの推進

2020年度
女性管理職比率

11.2% (グローバル含む連結)

当社グループは、従業員一人ひとりの多様性を尊重し、それらを受容できる組織風土を醸成することで、お客様や社会の課題解決に寄与する新しい価値を創造できると考えています。

変化し続ける時代に柔軟に適応するため、グループの成長ドライバーとなる女性、グローバル社員、シニア層をはじめとしたダイバーシティ人材の活用により組織力の最大化を図ります。

安全と健康

2020年度
労働安全衛生研修の受講者数

652名 (三和シャッター工業)

当社グループは、ものづくりに携わる企業として、従業員、協力会社社員、施工技術者など当社の事業活動に関わる全ての人の安全と健康の確保が企業存続の基盤であり、会社としての責務であると考えています。また、世界中のお客様に「安全・安心・快適」な商品とサービスを提供していくためには、従業員一人ひとりとその家族が健康で公私ともに充実した生活を送ることが大切であると考えています。

当社グループでは、重点目標「死亡・重篤災害ゼロの達成」および労働災害の撲滅に向けて、年間安全衛生計画に則り安全教育の実施とルールの徹底、ヒヤリハット事例の共有、作業負担軽減のための環境改善等に努めています。



会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数(連結) 12,441名 (注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03)3346-3019 (代表)

主なグループ会社

日本

三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
株式会社鈴木シャッター
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
三和システムウォール株式会社
昭和建産株式会社
田島メタルワーク株式会社
三和電装エンジニアリング株式会社
林工業株式会社

北米

Sanwa USA Inc.
OVERHEAD DOOR CORPORATION
Creative Door Services Ltd.

欧州

Novoferm Germany GmbH
Novoferm GmbH
Novoferm France S. A. S.
Norsud S. A. S.
Novoferm Nederland B. V.
Alpha Deuren International B. V.
Novoferm Alsai S.A.
Novoferm UK Holdings Limited
Bolton Gate Services Ltd.
Novoferm Schievano S.r.l.
Robust AB

アジア

中国 上海宝産三和門業有限公司
台湾 安和金属工業股份有限公司
香港 三和シャッター(香港)有限公司
鈴木鐵閘(香港)有限公司
ベトナム VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD.

- ホームページアドレス <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

役員

取締役会長 高山 俊隆
代表取締役社長 高山 靖司
取締役専務執行役員 藤沢 裕厚
取締役常務執行役員 山崎 弘之
取締役 高山 盟司
取締役 横田 正伸
監査等委員である取締役(常勤) 在間 貞行
監査等委員である取締役(常勤) 米澤 常克
監査等委員である取締役 五木田 彬

- (注) 1. 横田正伸氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、横田正伸氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 231,000,000株
- 株主数 9,587名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,946	12.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	15,309	6.92
株式会社三井住友銀行	11,037	4.99
第一生命保険株式会社	8,100	3.66
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	5,712	2.58
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,140	2.32
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,637	2.09
日本製鉄株式会社	3,968	1.79
住友不動産株式会社	3,810	1.72
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,738	1.69

- (注) 1. 当社は自己株式10,063,425株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告致します。

- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。